

29日・菜崎漁港「さかなまつり」盛り上げへ

越廼中生がおもてなし

福井市越廼中の生徒が、同市菜崎町の菜崎漁港で29日に開かれる「こしのさかなまつり」でスタンプラリーを行う。来場者に絶景や人気飲食店を巡ってもらい、越廼地区の魅力を知ってもらおうという企画。新型コロナウイルスの影響で2年連続中止となっていたイベントに人を呼び戻そうと準備を進めている。

(横畑俊介)



スタンプラリーで案内、接客も

同校は地域の盛り上げに協力しようと、総合的な学習の一環としてまつりに参加してきた。これまでも特産加工品の販売を手伝ったり、ステージイベントを企画したりしてきた。

今回、企画した「まちなかスタンプラリー」は、生徒が観光ガイドを務め、地区内を一緒に巡る。越前海岸の名物の水仙をかたどった街灯や地元で人気の海鮮の店などを回り、スタンプを集める。1時間ほど歩いた後、シーグラスを使ったキーホルダー作り体験も行う。

また生徒は、新鮮な海産物や地元業者の加工品が並ぶ越廼特産品販売のブースで接客を手伝う。事前に販売店に取材し、過去の販

また生徒は、新鮮な海産物や地元業者の加工品が並ぶ越廼特産品販売のブースで接客を手伝う。事前に販売店に取材し、過去の販

定置網体験や鮮魚販売も

福井市越廼地区の豊かな海の幸をアピールする「第15回」の「さかなまつり」が29日、同市菜崎町の菜崎漁港で開かれる。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催。定置網体験や新鮮な魚介類の販売などが行われる。

定置網体験(参加費10円)は午前10時と午後0時半の2回出港する。沖合約800mで、漁師が網を手繰り寄せて魚を取る様子を見学する。当日水揚げされた魚介類は漁港の

販売ブースで安く買い求めることができる。県警の警備艇わかさの船内見学も開かれる。オリーブの苗木200本を先着でプレゼントする。

まつりは午前9時と午後4時、問い合わせは越廼漁協☎0776(89)2316。恒例の魚のつかみ取りは感染拡大防止のため中止する。(杉本哲大)

児童のプレゼン力向上へ教員が研修

市教委、円山小で
福井市教委は、子どもたちのプレゼン力と、世の中に対し何ができるかを考える力を養う教育プログラム「Speak Up!」を同市円山小に導入し25日、教員26人を対象に同校で研修を行った。

全国各地でプレゼンの授業を行っている一般社団法人アルパ・エデュ(東京都)



が指南した。同法人の竹内明日香代表理事が「世の中

売実績をもとにして、生徒が商品の価格を設定する。へしこイカの一夜干しなど加工品の食べ方をまとめたチラシも作成。本番でできるだけ分かりやすく魅力を伝えようとして準備している。

3年ぶり開催のため、全校生徒12人は初参加になる。丹羽海斗さん(3年)は「不安もあるが、開催できるのはうれしい。販売ブースで全部売り切りたい」と意気込んでいた。

スタンプラリーは午前9時半、10時半、午後0時半、1時半の4回行う。

食材高騰 給食に

原油高などにより食材の価格が高騰する中、福井市内の小中学校では献立を工夫し、限られた予算内でやりくりしている。各校や給食センターの栄養教諭が安価な代替の食材を使ったり、調理法を変えたりして栄養価や満足感のバランスが取れたメニューを考

食材でも栄養価維持

健康教諭やりくり奮闘

案「ため」提供に
201 年ぶり
1食が
は握り
献立
半年持

を要「見」身だ。けやつから、高を組一な人た。級益